

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度		2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	算数					授業形態	講義			
科目コード	750082	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○	
担当教員名	河野 康男								ICT活 用	
授業概要	<p>新学習指導要領では、数学的な活動または数学的な見方・考え方が重視されているが、それらの活動を充実させていくためには、教師側に数学的な概念について十分な理解がなければならない。そこで、数学的な見方・考え方について、算数科の内容と関連付けながら講義を行い、ディスカッションをとおして、日常生活との関連性についても目を向けさせていく。</p>									
関連する科目	履修後は、教科教育法（算数）を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	授業の初めに復習を行い、内容の説明の後、教材を用いた数学的な活動等を行い、ディスカッションを通して、より深い理解をはかっていく。									
授業計画 【第1回】	認知的発達から見た「数の理解」について ・子どもの数概念の発達と数唱の関係について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	数と十進位取り記数法について ・集合数と順序数、自然数、十進位取り記数法について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	四則演算の意味について① ・加法、減法の意味について学ぶ。									
授業計画 【第4回】	四則演算の意味について② ・乗法の意味とファイバー図の書き表し方について学ぶ。									
授業計画 【第5回】	四則演算の意味について③ ・除法の意味とファイバー図での書き表し方について学ぶ。									
授業計画 【第6回】	量について① ・分離量と連続量の意味を知り、小数と分数の考え方を学ぶ。									
授業計画 【第7回】	量について② ・量分数と割合分数の意味を知り、その違いについて学ぶ。									
授業計画 【第8回】	数について ・実数、自然数、整数、有理数、無理数の用語を確認し、数の構造について学ぶ。									
授業計画 【第9回】	量と数について ・量の大小比較の原理を知り、単位について学ぶ。									
授業計画 【第10回】	量について（1） ・分数の演算（加法、減法）の仕方について、ファイバー図をもとに理解する。									

授業計画 【第11回】	量について（2） ・分数の演算（乗法、除法）の仕方について、ファイバー図をもとに理解する。
授業計画 【第12回】	比・割合 ・もとにする量とくらべる量との関係を理解し、内包量と外延量について学ぶ。
授業計画 【第13回】	既習内容から公式を作る（1） ・既習内容をもとに四角形、三角形、平行四辺形、円の面積の公式を作る。
授業計画 【第14回】	既習内容から公式を作る（2） ・授業「既習内容をもとに公式を作る」を通して、学んだことをまとめる。
授業計画 【第15回】	まとめ ・学習内容を振り返り、算数科を指導する際の留意点についてまとめる。
授業の到達目標	1 算数の内容における見方、考え方を知る。【知識・理解、問題解決力】 2 算数の面白さを実感する。【生涯学習力】 3 算数を指導する上でのポイントをつかむ。【指導スキル】
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	事前に示された課題について調べ授業に臨む。（1時間）
授業時間外学習【復習】	授業後の学びについて、ノートにまとめる。（30分）
課題に対する フィードバック	レポート及びその発表内容については、返却時に解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 学習後の振り返りによるレポート（20%） 2) テスト（80%）
テキスト	1 黒木哲徳『入門算数学』（日本評論社） 2 『小学校学習指導要領解説 算数編』（文部科学省 最新版）
参考書	
備考	